

赤城南端にあるツツジと展望の山

荒山・鍋割山

あらやま 1 5 7 1 . 9 m なくわりやま 1 3 3 2 . 3 m

山岳の特徴 付近の観光

コースの難易度	危険度
体力度	危険度
日帰り	歩行時間 4時間10分
	歩行距離 8.5km
	累積標高差 1729m

荒山・鍋割山は赤城山の最南端に位置し、関東平野とその周囲の山々の展望がすばらしい。それにまましてツツジの花に彩られた景

観は特に美しい。赤城山の犬島尾をくぐり、前橋市の白川の橋を渡ると右側に大きな駐

車場がある。駐車場の脇に「荒山高原入口」と書かれた道標があり、ここが荒山高原登山口だ。道標にしたがって山道に入る。



道の駅「ぐりーんふらわー」牧場から鍋割山(左)と荒山(右)の眺め



鍋割山の尾根から荒山と荒山高原を眺める

よる整備された樹林帯の緩やかな道を行く。途中、展望の広場へのルートを左に見送る。やがて右のゴロゴロした登登になり、登りきれば荒山高原に出る。視界の広がる荒山高原は十字路になっている。右は鍋割山、直進は芝の広場だ。このあたりはシーズンにはツツジ類の花の景色がすばらしい。

荒山へは案内板の横から左へ行く。登りが緩やかになると展望の広場に出る。振り返って見れば鍋割山の稜線と荒山高原が一望できる。ツツジの群落をすぎると、トラロープがつけられた急な岩場を越えろと荒山に着く。二等三角点の山頂には祠が祀られている。北側が切り開かれ、電波塔が林立する地蔵岳が目の前に見える。

山頂からはひもと右・直尾根の道標にしたがい、大きな岩の中の道を下ると、20分ほどで上のあずまやに着く。大洞からの「関東ふれあいの道」と合わるが、右折して荒山高原へ進む。

緩やかな下り道はまもなく下のあずまやに着く。小屋の下に芝の

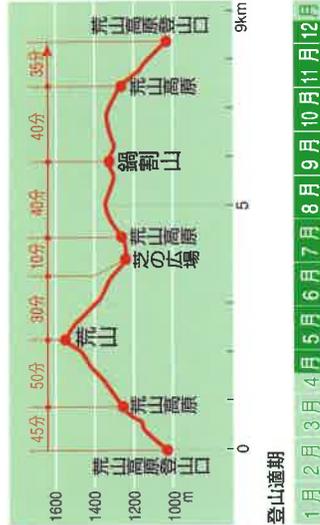
広場があり、ズミやツツジの花が特に多いところで、公園のような広場だ。十字路になっている道を

標識にしたがって右に行き、荒山高原に戻ろう。

荒山高原からは荒山と反対側の鍋割山へ向かう。荒山一周は花のトンネルだったが、小さなアップダウンを繰り返す尾根道は花の山を眼下に見るコースとな

る。花や遠くの山を眺めているうちに二等三角点の鍋割山に着く。鍋割山より南に山はなく、足もとに関東平野が広がり、平野を囲む山々の展望がすばらしい。いつまでも眺めたい気持ちだ。秋から冬のよく晴れた日の山頂からの夜景はどんなものだろうと、ここに立つといつも思う。

往路は荒山高原に戻り、左折して下れば登山口に戻る。(藤野 悠)



■登山シーズン
厳冬期を避ければ登れる山だが、5月上旬～6月中旬に咲くツツジ類がすばらしい。また10月からの紅葉と、空気の澄む初冬の展望もみごとである。

■ワンポイントアドバイス
*公共交通機関利用の場合、JR前橋駅から開越交通バスで富士見温泉へ行き、赤城山ビジスタター行きに乗り換える。箕輪で下車。日曜には赤城山ビジスタター行き直行便が運行されているが、いずれも本数が少ないので事前に要確認。
*マイカーの場合は開越自動車道赤城Cから国道353号を経由し、前橋赤城線を行く。

*前橋市側の赤城山森林公園荒山登山口から荒山高原へ約1時間。国立赤城青少年交流の家を北上し、鍋割相吉林道のT字路を右折すると数分で駐車場に着く(トイレあり)。整備された緩やかな道で、5月上旬には、家族連れに最適。
*鍋割高原登山口(路肩に駐車)からは一直線の急登で鍋割山にいたる。
*森林公園登山口には駐車場とトイレがあり、緩やかな道は芝の広場へ続く。

*5月の上旬のアカヤシオ、下旬から橙色のヤマツツジ、紅紫色のトウゴクミツツジ、紫色のトウゴクミツツジ、白色のシロヤシオ、コメツツジ、緑白色のアブラツツジ、サラサドウダン、ラツツジにレンゲツツジと次々と咲く。運がよければクサタチバナに出会える。

■問い合わせ
富士見観光協会 ☎027-288-2211、開越交通前橋営業所 ☎027-231-5857
■2万5000円
赤城山